

守谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議の結果について

【守谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議とは】

地方版まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定・推進・評価に当たって、様々な分野の人材から構成される有識者会議を設置することとなっており、守谷市も「守谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議設置要綱」に基づき会議を設置しています。会議構成員は、以下のとおりです。

No.	区分	団体等の名称
1	産	守谷市産業地域協力会
2	産	守谷市商工会 青年部
3	産	茨城南青年会議所
4	産	茨城みなみ農業協同組合
5	学	筑波大学
6	金	常陽銀行
7	労	関東鉄道株式会社労働組合
8	労	厚生労働省 茨城労働局 ハローワーク常総
9	市民	PTA 連絡協議会
10	官	地方創生コンシェルジュ
11	官	茨城県計画推進課
12	デジタル	守谷市 DX アドバイザー

令和6年11月20日に会議を開催し、令和5年度守谷市まち・ひと・しごと総合戦略の総合評価について、次のような評価をいただきました。

①デジタル田園都市国家構想交付金

「豊かな自然と人の賑わいが共存するサステナブルな駅前拠点創出プロジェクト」は、より多くの集客を得られるような施設とするための取組を期待する。

「インナープロモーション推進プロジェクト」では、より効果的な情報発信となるよう、専門家による情報発信も視野に入れて、今後の事業方針等の検討が必要であるとする。

②企業版ふるさと納税

新たな取組として、マッチング支援サービスの活用は評価できると思われる。現行の企業版ふるさと納税の制度の範囲内という条件はあるが、より多くの企業から選ばれる市になるための創意工夫を期待する。

③総合戦略の評価一覧

成果指標は、令和 5 年度の事業の評価が適切にできるよう現状値(令和 2 年度)から目標値(R8 年度)の数値を案分して、算出された目標値に基づき評価をした。

17 の成果指標のうち、8 つが D 評価(達成率「低」)としたが、コロナ禍以降の生活様式の変容に伴い、市民のニーズの変化が要因と考えられるものが見受けられる。成果指標の数値については、評価結果のみではなく、状況・原因の分析等をしたうえで、今後の行政活動につなげていただきたい。